

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学部		
科目名称 [英語名称]	総合的な学習の時間の指導法 [Teaching methods of integrated learning time]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	421170	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	植村 秀人			学位授与の方針 との関連	DP3(1)(2)		
授業概要	<p>授業の到達目標及びテーマ 総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸能力を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。 この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てる。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っているのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。 このため、以下の項目を目標として設定する。 (1)総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 (2)総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。</p>						
関連する科目	教育課程論・教育の方法と技術・特別活動論・教育実習・道徳の理論と指導法						
授業の進め方と方法	本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表を予定している。これにより受講生が主体的に学ぶようにする。						
授業計画	<p>第1回:はじめに～将来を支える子供たちに育てるべき力は何か?～ 総合的な学習・探求の時間が必要な背景について考える。 第2回:「総合的な学習・探求の時間」の歴史と意義～社会課題と導入、教育的な意義の理解～ 総合的な学習の時間の意義や原理を理解する。 第3回:学習指導要領における「総合的な学習の時間」～主に中学校(基本的事項や小学校も含む)～ 第4回:学習指導要領における「総合的な探求の時間」～高校～ 第5回:「総合的な学習・探求の時間」と各教科(道徳含む)・各種教育活動(特別活動など) 総合的な学習・学習の時間の指導内容、他教科・各教育活動との関係について理解する。 第6回:探求学習の方法Ⅰ～題材の検討方法:グループワークA～ 第7回:探求学習の方法Ⅱ～探求的な活動の方法～ 第8回:探求学習の方法Ⅲ～アンケート・ネット・著作権の留意点、関係機関の活用、学習環境の整備～ 探求的な学習の方法を理解する。 第9回:「総合的な学習・探求の時間」の教育課程編成と授業計画・指導体制 第10回:「総合的な学習・探求の時間」の指導案作成・模擬授業Ⅰ～指導案の作成:グループワークB～ 第11回:「総合的な学習・探求の時間」の評価 第12回:「総合的な学習の時間」の指導案作成・模擬授業Ⅱ～授業の実際:グループワークB～ 総合的な学習の時間と指導計画作成、実際の指導・評価について理解する。 第13回:環境教育への視点～SDGsなどの理解～ 第14回:地域課題学習～地域学への視点～ 総合的な学習・探求の時間で取り上げる環境学習や地域学習を考える 第15回:まとめ～新しい時代の教育と「総合的な学習の時間」～総合的な学習の時間についてまとめる 第16回:レポート回収・レポートなどの解説</p>						
授業の到達目標	総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸能力を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てる。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っているのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。 このため、以下の項目を目標として設定する。						
授業時間外の学修	<p>予習を行うこと(各1時間) 復習を行うこと(各1時間) 課題に取り組むこと(10時間) 参考書などを読み自己学習を深めること(10時間) レポートに取り組むこと(10時間)</p>						
課題に対するフィードバック	レポートについては、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。提出物・グループワークは、上記返却時に評価のポイントを説明する。テストは、終了後に解説を行い、後日答案の返却をする。			評価方法	<p>授業毎のレポート 30点 グループワークA 20点 グループワークB 20点 授業態度 10点 レポート 20点</p>		
テキスト	中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)(最新版) 高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説(総合的な探求の時間編)(最新版) 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)(最新版)						
参考書	総合的な学習の時間(新しい教職教育講座 教職教育編)原清治・春日井敏之・篠原正典・森田真樹 平成29年改訂 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間 単行本 田村 学						
備考							